

屋外OKのUV検出式

アンテック火災センサー販売

【岡山】アンテック・21555)は、屋外で(岡山県邑久町、末石建二社長、0869・22V)も使用できる紫外線(U)検出方式の放火・火災検出センサー



(写真)を発売した。価格は3万円。初年度10万個の販売を目指す。

炎に含まれる

紫外線(波長185-260ナノメートル)を検出するセンサーに、太陽光に含まれる紫外線を識別する機能を持たせた。

従来の熱や煙を検知するタイプに比べ、5メートル距離にあるライターの炎(20ミリメートル程度)でも発見できることから初期消火にも有効という。

サイズは直径68ミリメートル、高さ25ミリメートルとコンパクト設計。検出範囲は左右、上下各120度で、用途に合わせて検出時間を0・5-16秒まで5段階で設定できる。このほか個別監視に対応する通信機能付きタイプもある。

平成16年3月9日

日刊工業新聞